

有機農法による農産物の安定供給に向けて

（株式会社安心院オーガニックファーム）

＜法人の概要＞

所在地：大分県宇佐市

設立：平成 24 年 10 月

資本金：335 万円 売上高：11,200 万円

役員：2 名（うち農作業従事者 2 名）

経営面積：14.1 h a

作付作物：ベビーリーフ、パクチー、ハーブ等

＜農業参入に至った経緯＞

（株）安心院オーガニックファームでは、有機農産物を生産し全量を（有）むらおか（本社：福岡市）へ出荷している。

代表である村岡徹氏は、同社を設立するまで、実父が経営する有機農産物を専門に取り扱う（有）むらおかに勤めていたが、有機農産物の生産農家は小規模経営が多く、需要に応じた供給量の確保が事業拡大の課題となっていた。

また、販路開拓のため東京進出したところ、東日本大震災が発生。産地である九州に対する需要が高まったものの、需要に見合った供給が見込めなかった。

このため、需要の高まりに見合った有機農産物の安定供給を実現するため、自らがその一翼を担うべく、農業参入を決意した。



<農業参入を決めてから営農開始まで>

農業参入にあたっては、有機農産物の生産を手掛ける（株）H A T A K Eカンパニー（本社：茨城県つくば市）の協力を得て、1年間社員を2名派遣し栽培技術の習得に取り組んだ。

併せて、安定供給（生産）が図れるよう、まとまった農地の確保と出荷にあたり交通の利便性を考慮し農地を探した。

九州各地の自治体に相談する中で、まとまった農地が確保でき、かつ、高速のI Cにも程近いことから、宇佐市安心院町で同社を立ち上げた。

しかし、立ち上げ当初は、給水制限、排水の滞り等、様々なトラブルが生じ、水確保のための掘削、排水設備の調整など対応に追われ、施設が十分に稼働し、採算が採れるまでに3年の期間を要した。

現在では、宇佐市でベビーリーフを中心に栽培し、農業経営を実践している。

なお、農地の確保にあたっては、個々の地権者との契約手続などが不要であることに着目し、農地中間管理機構も活用している。

<特徴的な取組>

2014年に有機J A S認定とJ - G A P認証を受けた。

地域循環型農業に取組み、市内小学校からは給食残さを、地元酒造メーカーからは焼酎カスを譲受け、堆肥化し農産物の栽培に活用するとともに連携して、焼酎製造から堆肥製造、農作物栽培までの課程を市内小学校の社会科見学コースとして受け入れている。

<今後経営展開の方向>

ハウスの生産回転率を向上させ、1農場20h aを目安に複数の農場経営を目指している。

観光と農業が連携したグリーン・ツーリズムにより、地域と一体となった産地作りを行いたい。そして、農業に魅力を感じ、働き手から選ばれる企業を目指している。

